

| | | | |
|------------------|---|-------------|--------------|
| <p>学校名</p> | <p>山形市立第二小学校 山形市香澄町三丁目9番38号 TEL 622-0652 FAX 633-9310</p> | <p>校長</p> | <p>大泉 眞一</p> |
| | | <p>研究主任</p> | <p>色部 正俊</p> |
| <p>研究主題</p> | <p>共に豊かな生活を創造していく子どもの育成(4年次) 開かれた学校づくりをとおして</p> | | |
| <p>研究主題設定の理由</p> | <p><u>学習指導要領の基本方針から</u> 子どもの育成についての基本方針をうけて 豊かな人間性や社会性、国際社会に生きる日本人としての自覚を育成 自ら学び、自ら考える力を育成 基礎・基本の確実な定着を図り、個性を生かす教育の充実 各学校が創意工夫を生かした特色ある教育、特色ある学校づくりの推進</p> <p><u>社会的要請から</u> 21世紀に生きる子どもたちに必要な力(生きる力) 国際化、情報化、科学技術の進展、環境問題への関心の高まり、高齢化・少子化など社会の激しい変化へ対応する力の育成 自ら考え、判断し、行動できる資質や能力を身につけ、主体的、創造的に生きていく力の育成</p> <p><u>本校の教育目標の具現化と児童の実態から</u> 本校の教育目標 「家庭教育の基礎の上に、常に光り輝く未来の星、ふじかげっ子を育成する。」 ふじかげっ子のよさにつけたい力 ・ 人の話をしっかり聞こうとできるので、それに対して自分の考えをもたせたい。 ・ 決まった形式の中では発表できるので、友達とかかわりながら話し合わせたい。 ・ 自分の考えを発表する意欲はあるので、伝えるという意識で発表させたい。 ・ まじめに仕事に取り組めるので、新しい発想で失敗をおそれず取り組ませたい。 ・ 知識は比較的多くもっているので、さまざまな分野で数多くの体験をさせたい。 ・ 規範意識は強いので、いろいろなことに挑戦しようとする意欲を育てたい。</p> <p>学校、家庭、地域が一体となって子供を見守り、教え、育てるための場や機会が必要。 「学校を開く」ことにより、本校の教育課程全体を多様な観点から把握していくことができ、特色ある学校作りにつながる。</p> | | |
| <p>研究の目標</p> | <p>子どもに基礎・基本、生きる力を身につけ、学びを開いていくための教師の手立てや仕掛けを、教育課程全体をとおして検討していく。 子どもの様子を地域や保護者に伝えたり、公開したりすることによって得られた感想や意見を教育課程全体に生かす方法を検証し、「開かれた学校づくり」をめざしていく。</p> | | |
| <p>研究の仮説</p> | <p>子どもの思いや願いを大切に 課題解決型学習 体験重視 自然・地域・社会・人・文化とのかかわり 時間・空間・情報を開く このような視点から子どもにかかわることにより、子どもに基礎・基本、生きる力が身につけ、子どもの学びが開かれるだろう。この過程を、地域や保護者に開き、本校の教育課程全体について考え、特色ある学校づくりをしていくことが学校を開くということであり、その結果、研究主題にせまれるであろう。</p> | | |

| | | |
|--|---|---|
| 研 究 の 仮 説 | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">共に豊かな生活を創造していく子どもの育成</div> | |
| | <p>自然や地域・社会・人・文化などと進んでかかわり合いながら、主体的に学び、考え、表現し、共に生きようとするができる子ども</p> <p>豊かな人間性を持ち、社会の変化に対応しながら、より良い生活をするができる子ども</p> <p>基礎・基本となることを身につけ、自分の良さ・個性を生かすことができる子ども</p> | |
| | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">学 び を 開 く</div> | |
| | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">基礎的・基本的な内容の定着</div> | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">生きる力</div> |
| | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">子どもの思いや願い 体験重視</div> | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">課題解決型学習 自然・地域・社会・人・文化とのかかわり</div> |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">家 庭 ・ 地 域 に 開 く</div> | | |
| 研 究 の 内 容 と 方 法 | <p>(1) 開かれた学校づくりについての理論・実践研究 研究構想図を見直し、本校の研究の進むべき方向を再検討する。 (学びを開く、家庭・地域に開く) 研究組織の見直しと再編 先進校研究視察 講師招聘</p> <p>(2) 仮説に沿った「開かれた学校づくり」の理論・実践研究 「学びを開く」の観点から ・子どもの実態や保護者の意識調査 ・1人、年1、2回の研究授業実施 *子どもの思いや願い *体験重視 *課題解決型学習 *自然・地域・社会・人・文化との関わり 以上の4つの視点から教師が意図的に仕掛ける授業実践 ・「基礎的・基本的な内容」のとらえ方についての研修 ・「生きる力」についてのとらえ方についての研修 「家庭・地域に開く」の観点から ・ノーチャイム・ふれあいタイム・ロング昼休み(週2回)の継続など ・学校だより配布・ホームページの作成・学校評議員制度の導入など ・学校開放日(フリーデー)や研究授業の公開など 本校の課題から ・二小の開かれた学校としての特色(目玉となるもの)を、実践を通しながらさらに明らかにしていく。そして、目指す子ども像にせまるための方法を、各教科、道徳、特別活動、教育課程全体を通して検証していく。</p> | |
| | 研究の計画 | <p>4月 ・研究の方針、内容と方法、組織等についての検討 児童の実態、めざす子ども像についての確認・年間計画立案</p> <p>5月～2月 ・「学びを開く」についての実践・反省 (1人、年1回以上の研究授業の実施・研究会の実施) ・「家庭・地域に開く」についての実践・反省 ・理論研究 ・学校開放日・研究授業の公開 ・学習環境整備</p> <p>2、3月 ・研究紀要のまとめ ・本年度の研究の反省 ・来年度の研究の見通し</p> |